

小林市文化財調査報告書 第1集

# 市内遺跡発掘調査報告書

2007年3月

宮崎県小林市教育委員会

## 序 文

この報告書は、小林市教育委員会が平成18年度に実施した試掘・確認調査の報告書です。

近年、小林市では開発事業等の増加により、開発事業と埋蔵文化財保護との調整が重要な課題となっています。平成4年度から平成5年度にかけて市内の遺跡詳細分布調査を実施し、その結果、150ヵ所以上の遺跡が確認されています。小林市教育委員会ではこの結果を受けて、開発区域内の遺跡について事前の試掘・確認調査を実施しているところです。

本書の刊行を機に、皆様の埋蔵文化財に対する一層の御理解をいただければ幸いです。

最後になりましたが、調査に御協力いただきました関係諸機関並びに地権者の方々、また発掘調査に従事していただいた皆様に厚くお礼を申し上げます。

平成19年 3 月

小林市教育委員会  
教育長 佐藤 勝美

# 例 言

- 1 本書は、小林市教育委員会が平成18年度に実施した、市内遺跡発掘調査の報告書である。
- 2 調査組織は以下のとおりである。

調査主体	小林市教育委員会
教 育 長	佐藤 勝美
社会教育課長	堀 英博
文化財係長	平川 幸人 (平成18年4月～8月)
	天辰 より子(平成18年8月～)
調査事務担当	柚木脇 大輔
調 査 担 当	落合 賢一
	柏野 勝重
発掘作業員	
- 3 本書の執筆及び編集は落合賢一が行った。
- 4 本書に利用する位置図は国土交通省国土地理院長の承認を得て、同院発行の25,000分の1地形図を複製したものを使用している。

## 本文目次

◆調査の記録	1
1 猫坂地区	3
2 八久保地区	3
3 水天山地区	4
4 千谷地区	4
5 宮地地区	5

## 挿図目次

第1図 遺跡の位置および周辺地形	1
------------------	---

## ◆調査記録

近年、小林市では開発事業等の増加により、各種開発事業と埋蔵文化財保護との調整が重要な課題となっている。今年度は開発事業の予定されている猫坂地区、八久保地区、水天山地区、千谷地区、宮地地区の計5地区で試掘確認調査を行い、遺構、遺物の有無について調査した。



第1図 遺跡の位置図および周辺地形図

- 1 猫坂遺跡群      2 八久保地区      3 水天山遺跡



## 1 猫坂地区（小林市大字北西方字猫坂）

### 〔遺跡の位置と環境〕

猫坂遺跡は市北西部の標高 320m前後の丘陵地に広がり、遺跡の西側に沿うように国道 221 号線が走る。遺跡の北側はえびの市と接し、この付近は大淀川水系と川内川水系の二大河川の分水嶺にあたる地域でもある。

遺跡内では平成 2 年度の試掘調査で、弥生土器の破片と住居址のような落ち込みが確認されている。平成 6 年度のゴルフ場建設に伴う発掘調査においては、縄文時代の集石遺構が検出されている。

### 〔調査に至る経緯〕

この地区では農地基盤整備事業が計画されている。小林市農村整備課から埋蔵文化財包蔵地の有無についての照会を受け市教育委員会で確認したところ、計画予定地が「猫坂遺跡群」に含まれていたため、双方で協議した結果、予定地内で遺跡の有無を確かめるため試掘調査を実施することになった。

### 〔調査の概要〕

計画予定地内に計 5 箇所のトレンチを設け、地表面から約 1mほど掘削したが、耕作によるかく乱を受けている上、遺構・遺物等は検出されず、遺跡の存在は確認されなかった。

## 2 八久保地区（小林市大字北西方字八久保）

### 〔遺跡の位置と環境〕

市北西部の標高 360～380mの丘陵地に広大な放牧地が広がっている。前項で紹介した猫坂遺跡群からは北西に約 2km ほど離れた場所にあり、周辺には縄文時代の遺跡が点在している。

### 〔調査に至る経緯〕

この地区は市が運営する畜産牧場があり、今年度以降大規模な整備計画が持ち上がっている。計画予定地内には周知の遺跡は無いものの、放牧地の起伏を緩やかにするための大規模な造成工事が実施されることから、牧場を所管する小林市畜産課と市教育委員会で埋蔵文化財の取扱について協議した結果、工事着手前に遺跡の有無を確認する調査を実施することになった。

#### [調査の概要]

工事予定地内に 10 箇所の特レンチを設け、地表面から 1.0～1.5m程度掘削したが、遺跡と確認できる物証は得られなかった。

### 3 水天山地区（小林市大字東方字水天山）

#### [遺跡の位置と環境]

この遺跡は市中心部から北東にある東方地区にある。国道 265 号線を須木方面に向かったところに東方小学校がある。この付近は小河川により開析された地形が広がり、その丘陵上に遺跡が点在している。小学校の北東にはやや平坦な地形が畑地として利用され、この付近でも遺跡の存在が確認されている。

#### [調査に至る経緯]

この地区では携帯電話の無線基地局の建設が予定されており、建設予定地について開発事業者から市教育委員会に埋蔵文化財の有無について照会があった。すると、この付近は周知の遺跡である「水天山遺跡群」の中に所在していたため、開発事業者と協議の結果、工事着手前に建設予定地について遺跡の存在を確認するための試掘調査を実施することになった。

#### [調査の概要]

建設予定地内に 4 箇所の特レンチを設け、地表面から 1.5m～1.7m ほど掘削を行った。そのうちの 1 箇所からは土器片が、もう 1 箇所から黒曜石片がいずれもかく乱された土層から出土した。

なお、遺構および包含層からの遺物の出土は確認されなかった。

### 4 千谷地区（小林市大字細野字千谷）

#### [遺跡の位置と環境]

小林市の南部に位置する細野地区は、霧島山系夷守岳の山麓を流れる小河川によって浸食された地形が広がる。湧き水も多く見られ、出の山公園など豊富な水源が現在もある。千谷地区にも湧水地があり、この付近を取り囲むように遺跡が展開している。

#### [調査に至る経緯]

小林市建設課から市教育委員会に市道拡幅工事に伴う埋蔵文化財の有無について

照会があった。工事予定地は周知の遺跡である「千谷遺跡群」に含まれており、市建設課と市教育委員会との協議の結果、工事施工前に工事予定地において遺跡の有無の確認を行うことになった。

#### 〔調査の概要〕

調査は工事予定地を 3 箇所に分けて重機による掘削を行なった。地表面から 1.5 mほど掘削した 1 箇所のトレンチからは、地下から水が湧き出してくるような状況であった。

残りの 2 箇所についても地表面から 2.2mほどのアカホヤ火山灰層直下の黒褐色土層まで掘削したが、遺跡の存在は確認されなかった。

## 5 宮地地区（小林市須木大字中原字宮地）

#### 〔遺跡の位置と環境〕

小林市須木地区は九州山地の南端にあたる山地を大淀川上流部の本庄川（綾南川）などが流れる大小の谷地形が多く見られ、その中に集落が展開している。

遺跡も現在の集落と重なるように確認されており、地区の中心部にあたる麓地区では、須木村古墳、須木城跡、大年谷遺跡などの遺跡が見られる。

#### 〔調査に至る経緯〕

西諸行政事務組合では消防団詰所の建設計画があり、小林市総務課を通じて市教育委員会に消防署分遣所の建設に伴う埋蔵文化財の有無について照会があった。建設予定地は周知の遺跡である「宮地遺跡」に含まれており、また、平成 10 年および 11 年度の旧須木村教育委員会が実施した発掘調査により、弥生時代の住居跡などが検出されていることから、協議の結果、工事着手前に遺跡の存在を確認するため試掘調査を行った。

#### 〔調査の概要〕

調査は建設予定地に 3 m×10mのトレンチを設定し、重機による掘削を行った。地表面から 1.4mほど掘削したところで、アカホヤ火山灰層が検出され、トレンチ北側で遺構と思われる黒色土の落ち込みが検出された。

### 《引用・参考文献》

- 『宮崎県史 資料編 考古 2』 宮崎県 1993  
中村真由美 「市内遺跡詳細分布調査報告書」『小林市文化財調査報告書』 第 7 集  
1994 小林市教育委員会

版 圖

図版 1



猫坂地区 調査前



猫坂地区 トレンチ

図版 2



八久保地区 調査前



八久保地区 トレンチ

図版 3



水天山地区 調査前



水天山地区 トレンチ

图版 4



八反地区



八反地区

図版 5



宮地地区



宮地地区 トレンチ

# 報告書抄録

ふりがな	しないいせきはくつちょうさほうこくしょ
書名	市内遺跡発掘調査報告書
シリーズ名	小林市文化財調査報告書（新小林市）
シリーズ番号	第1集
編著者名	落合賢一
所在地	宮崎県小林市大字細野300番地
発行年月日	2007年3月30日

調査地区名	所在地	調査期間	調査面積	出土遺構	出土遺物	調査要因
猫坂地区	小林市大字北西方字猫坂	H18. 5. 15 ～5. 18	18m <sup>2</sup>	なし	なし	農地基盤整備 事業
八久保地区	小林市大字北西方字八久保	H18. 9. 11 ～9. 30	40m <sup>2</sup>	なし	なし	畜産担い手育 成総合整備事 業
水天山地区	小林市大字東方字水天山	H18. 11. 9 ～11. 10	9m <sup>2</sup>	なし	なし	無線基地局建 設
千谷地区	小林市大字細野字千谷	H19. 1. 10 ～1. 10	58m <sup>2</sup>	なし	なし	市道拡幅工事
宮地地区	小林市須木大字中原字宮地	H19. 3. 14 ～3. 14	30m <sup>2</sup>	なし	土器片 1点	消防団詰所建 設

小林市文化財調査報告書第1集  
**市内遺跡発掘調査報告書**

平成19年3月30日

編集・発行 宮崎県小林市教育委員会  
宮崎県小林市大字細野300番地  
印 刷 高千穂印刷

